

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 AOKI ホールディングス（証券コード:8214）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

A-
安定的

■格付事由

- (1) 紳士服専門店チェーン第2位の「AOKI」（ファッション事業）などを傘下に持つ純粋持株会社。ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を運営するアニヴェルセル・ブライダル事業、複合カフェ、カラオケルーム、24時間セルフ型フィットネスジムの営むエンターテインメント事業でも業界上位に位置している。当社と事業会社との一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 業績はコロナ禍による落ち込みから回復に転じている。各事業とも需要が底を打っているほか、スタッフの多能工化、広告宣伝費の見直しなど販管費の削減も進んでいる。今後はファッション事業において円安によるコストアップが懸念されるが、在庫コントロールによる値下げの抑制や店舗運営の効率化などの寄与が見込まれる。また、複合カフェ、フィットネスジムを中心に出店を強化してきたエンターテインメント事業の拡大もあり、業績が大きく落ち込む可能性は低いと考えられる。良好な財務構成は維持可能と想定される。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) ファッション事業では在宅勤務の定着によりスーツ需要の回復が期待し難い中、カジュアル、レディースの販売拡大が進むか注目していく。ブライダル事業では赤字が継続しており、業務の内製化などによりコストを削減させることが重要である。エンターテインメント事業ではカラオケの戻りは鈍いが、複合カフェは回復している。今後は出店を強化していくフィットネスジムの利益貢献度合いに注目していく。なお、8月には元会長、元副会長及び元執行役員が贈賄の容疑で逮捕されたが、現状では当社の事業に大きな影響はみられていない。ガバナンスの強化と再発防止に向けた取り組みを引き続き確認していく。
- (4) 23/3期の営業利益は88億円（前期比61.7%増）の計画。経済活動の再開に伴い、各事業の需要回復が見込まれる。また、グループ全体で他事業への異動も含めた人材配置を進めるなどコストコントロールを一段と強化していく。23/3期第2四半期末の自己資本比率は57.7%と良好な水準にある。今後の設備投資はエンターテインメント事業を中心とした出店となるが、設備投資額は営業キャッシュフローの範囲内に収まる見通しである。

（担当）千種 裕之・三浦 麻理子

■格付対象

発行体：株式会社 AOKI ホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年11月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「小売」(2020年5月29日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社 AOKI ホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル